

事業番号	01 01 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	防火対策事業	部局	危機管理部	課・室	消防課	
		実施期間	S63 ～	E-mail	shobo@pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・消防団は地域防災力の中核として重要な役割を担っているが、人口減少や若者の地元離れなどの影響から、団員数は最近10年間で約5千人減少しており、市町村等と連携して団員の確保や活動環境の整備に取り組む必要がある。
- ・灯油の流出など危険物に係る事故の発生は、火災や水質汚染などに繋がり県民生活に大きく影響することから、危険物取扱者の資質の向上を図るとともに、危険物施設の保安体制を確保する必要がある。
- ・一定規模以上などの防火対象物については消防設備等の点検報告が義務付けられているが、県内の点検報告率は48.4%（R5.3）で全国平均の55.2%を下回っており、点検報告を担う消防設備士の資格取得の促進及び資質向上に取り組む必要がある。

2 事業目的

- ・消防団の充実・強化及び活動環境を整備することにより、地域防災力の向上を図る。
- ・危険物施設に係る保安の確保と消防用設備等の適正な設置及び維持管理を推進する。

3 事業目的を達成するための取組

①消防団の充実強化及び活動環境の整備に向けた取組の推進

- ・長野県消防ポンプ操法大会・消防ラッパ吹奏大会を（公財）長野県消防協会と共同で開催
- ・消防団協力事業所に対する優遇措置など（消防団応援減税、建設工事等入札参加資格での加点、中小企業振興資金の金利優遇や知事表彰の実施）
- ・信州消防団員応援ショップ推進事業の展開
- ・学生の消防団活動に対する理解や入団を促進するための一日消防団員体験、動画による広報活動の展開（6月補正）



長野県消防ポンプ操法大会・消防ラッパ吹奏大会

②危険物施設に係る保安の確保と消防用設備等の適正な設置及び維持管理の推進

- ・危険物取扱者保安講習、消防設備士義務講習の受講申請等のオンライン化
- ・危険物安全週間や火災予防週間における啓発活動の実施

4 成果指標

（推移の凡例 ♯：改善 ↓：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度	R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①-1	信州消防団員応援ショップ数	店舗	1,412	1,260	↘	1,254	↘	1,450	未達成	これまでの信州消防団員応援ショップの登録状況から、登録数の3%程度の増加を目指し、1,450店舗を目標とする
①-2	消防団協力事業所認定数	事業所	1,163	1,164	↗	1,187	↗	1,141	達成	市町村における消防団協力事業所の認定状況から、現状の認定数である1,141事業所を目標とする
②	危険物取扱者保安講習でのオンライン講習受講者の割合	%	－	20.8	－	21.8	↗	25.0	未達成	危険物取扱者保安講習におけるオンライン講習をR4年度から導入したことから、R5年度のオンライン講習受講者数を拡大するため、前年度の割合を上回る25%を目標とする

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-2①	災害に強い県づくりの推進										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R5年度	0	48,870	4,986	53,856	18,075	50,350	4.0
R4年度	0	50,739	0	50,739	18,009	44,392	4.0
R3年度	0	58,373	0	58,373	24,700	49,567	5.0

事業番号	01 01 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	防火対策事業	部局	危機管理部	課・室	消防課	

7 主な取組実績と成果

①消防団の充実強化及び活動環境の整備に向けた取組の推進

- ・第65回長野県消防ポンプ操法大会・第32回長野県消防ラッパ吹奏大会を（公財）長野県消防協会と共同で開催し、約1,800人が参加
- ・信州消防団員応援ショップ事業の利用促進を図るため、市町村を通じて応援ショップのPRを行い、令和6年3月末時点で、1,254店舗が登録
- ・学生や若者に向けた入団促進事業として、一日消防体験の実施や消防団員が出演するPR動画を制作、YouTube等のSNSにおいて配信し、令和6年5月末時点で約3.2万回再生

②危険物施設に係る保安の確保と消防用設備等の適正な設置及び維持管理の推進

- ・危険物取扱者講習（年26回）を開催し、2,896人が参加
- ・消防設備士講習（年10回）を開催し、877人が参加

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	信州消防団員応援ショップ数	R4年度推移	↘	R5年度推移	↘	達成状況	未達成
応援ショップの登録PRチラシを希望する市町村へ配布するなど、継続的に周知を図ったが、新規の登録店舗数より、閉店等による登録停止を希望する店舗数が上回ったことから、最終的に登録店舗が目標値を下回った。							
指標②	消防団協力事業所認定数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
一時期、認定数が減少したものの、従来から実施している県の消防団協力事業所の応援減税制度や入札参加優遇措置等について、市町村を通じて周知を実施した結果、昨年度は新規認定が増加し目標値を上回った。							
指標③	危険物取扱者保安講習でのオンライン講習受講者の割合	R4年度推移	—	R5年度推移	↗	達成状況	未達成
オンライン講習受講者は増加したものの、オンラインで受講する環境が整っていない等の理由から対面講習を希望する受講者が一定数おり、目標値を下回った。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・消防団は「地域防災力の中核」として県民の確かな暮らしを守るため、重要な役割を果たしているが、少子高齢化や女性・若者の県外流出による人口減少等により、消防団員の確保が課題。様々な呼び掛けを重点的に実施することや、消防団員等の意見を幅広く聴くことなどにより、更なる女性や若者の消防団の理解促進・加入促進が必要。また、消防団員をとりまく環境の改善として、信州消防団員応援ショップの利便性の向上を図る必要がある。
- ・本県の消防用設備等点検報告率や、住宅用火災警報器の設置率は、全国平均を下回っていることから、更なる向上に向けた取組が必要。

(2) 事業改善の方策

- ・団員の確保に向けて、今後の入団が期待される県内の大学生や若者に効果的に消防団を周知できるよう、大学向け説明会など若者が多く集まるイベント等で動画の放映や、消防団YouTubeチャンネルの周知を図る。
- ・消防団員の声を県の施策に反映させるため、消防団員向けにアンケート調査を実施する。また、信州消防団員応援ショップのシステムの改修を行い、消防団員カードの電子化を行う。
- ・消防本部や関係団体との連携を強化するとともに、（公社）長野県宅地建物取引業協会を通じて、消防用設備等点検報告や住宅用火災警報器の設置を広く周知する。

事業番号	01 01 02	細事業一覧（令和5年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検			
事業名	防火対策事業			部局	危機管理部	課・室	消防課	

細事業No.	細事業名			R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	消防団充実強化支援事業			811 千円	3,149 千円	9,669 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	県消防協会実施事業への支援	補助金	消防ポンプ操法等県大会の開催、地区大会への支援			
			県大会の開催1回、地区大会への支援11地区協会			
2	消防団活動に対する支援	直接	広報媒体を活用した消防団活動の魅力発信、消防ポンプ操法等県大会優勝チーム等表彰、消防団協力事業所知事表彰、消防団員研修への協力			
			消防団協力事業所知事表彰数9事業所			
3	学生の消防団理解・入団の促進（6月補正）	委託	1日消防団員体験、消防団入団促進動画4本の作成・配信			
			1日消防団員体験事業参加者50名、動画再生回数約3.2万回			

細事業No.	細事業名			R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	消防救急対策等管理事業			11,283 千円	11,083 千円	10,884 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	救急振興財団負担金	負担金	救急救命士や指導救命士の養成及び救急救命士に対する教育訓練を行う救急振興財団への負担金			
			救急救命士10名、指導救命士7名の養成			
2	消防統計電算処理業務委託	委託	県内の消防情勢を把握するために必要な消防統計資料の作成			
			火災等統計表作成数65表			
3	退職報償賞状の作成業務	直接	退職した消防団員に授与する退職報償賞状の作成			
			退職報償知事賞状授与者数460名			

細事業No.	細事業名			R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	信州消防団員応援ショップ推進事業			206 千円	407 千円	381 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	消防団員カード及び登録店舗表示証の更新	直接	信州消防団員応援ショップを利用するための消防団員カードと登録店舗が掲示する表示証の作成及び登録促進			
			消防団員応援ショップ登録の新規申込件数：19件			

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	危険物・消防設備等規制事務事業		30,424 千円	29,753 千円	29,416 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	危険物取扱者保安講習	委託	危険物取扱者に対する保安講習の開催		
			危険物取扱者保安講習開催回数26回		
2	消防設備士義務講習	委託	消防設備士に対する義務講習の開催		
			消防設備士義務講習開催回数10回		
3	危険物取扱者及び消防設備士の免状交付事務	委託	危険物取扱者及び消防設備士への免状交付及び書換え等		
			新規免状交付者数2,270件、再交付213件、免状書換え件数2,332件		